

2025年3月期 第3四半期決算説明会資料

2025年2月26日

株式会社Smile Holdings

証券コード:7084

Smile Holdings

-今期2025年3月期より株主還元開始-

2025年1月1日より、社名を“株式会社Kids Smile Holdings”から“株式会社Smile Holdings”へと変更いたしました。

株主還元を開始

● 配当開始(配当予想修正)の理由

- 既存事業の持続的黒字化の達成
- 営業利益について、2024年3月期実績:232百万円(過去最高)、2025年3月期予想:240百万円(過去最高)を達成
- EBITDAについて 2024年3月期実績:1,056百万円(過去最高)、2025年3月期第3Q実績:854百万円(過去最高)を達成

● 配当の方針について

基本方針①
DOE
4~5%

基本方針②
EBITDA性向
25~35%

基本方針③
継続実施

- DOE = 株主資本配当率
- EBITDA性向 = EBITDAに対する配当額

● 配当予想について(2月25日公表済)

	2024年3月期 基準日:2024年3月31日	2025年3月期 基準日:2025年3月31日
1株あたり 配当金	0円	95.0円
配当金総額	-	約3億円

DOE(株主資本配当率)、及びEBITDA性向(EBITDAに対する配当額の比率)の採用理由について

①「**引き続きの成長投資過程**」の中で、②「**当社の実態に即しかつ安定的な配当を行う指標**」
として採用

➡ ①「**引き続きの成長投資過程**」…今期終了時点までで、既存事業におきましては営業利益が持続的に黒字となる体制になっておりますが、次年度以降より一層の成長に向けた新規投資を行うことにより、トップラインである売上は増加をし続ける一方、利益については一時的な減少も想定をしております。

➡ ②「**当社の実態に即しかつ安定的な配当を行う指標**」…安定配当の指標としてDOEに加え、EBITDA性向を採用することにいたしました。大型設備投資型事業を営む当社においては毎期多額の減価償却費を計上しております。また今期7億円を超える減価償却費のうち多くは既に開設補助金として受領済みとなっております。併せて開設補助金の税務処理は入り組んでいることから、当社としては収益力の実態を測る重要指標としてEBITDAを採用しており、それを指標とした配当を行うことと致しました。

➡ **配当予想額について**… 2025年2月14日に発表した修正業績予想に準拠すると、2025年3月期末の株主資本は約65億円、EBITDAは約9.9億円を見込みます。この金額に対して上記基準を適用し検討した結果、2025年3月期の予想配当総額を約3億円とし、1株当たり95円を配当予想と致します。

売上高

96.4億円

3.2億円増、103.5%
前年同期比

第3四半期として
過去最高!

EBITDA

8.5億円

1.6億円増、124.6%
前年同期比

第3四半期として
過去最高!

営業利益

2.8億円

2.1億円増、437.6%
前年同期比

第3四半期として
過去最高!

当期純利益

1.9億円

1.0億円増、223.0%
前年同期比

運営施設数

80施設

前年同期比 +1
※10月1日よりグローバルスクール吉祥寺開園

児童数

5,327人

15人増
前年同期比

引き続き上場以来堅調な成長を維持。同時に事業領域拡大を推進

- 売上高は、第3四半期として過去最高
- EBITDA(営業利益+減価償却費)も、第3四半期として過去最高
- 営業利益も、第3四半期として過去最高(第1四半期より黒字化達成)
- 児童数は、5,327人に増加
- 既存事業の業績好調により上方修正発表 ※2月14日公表済
- ボーディングスクール留学支援事業の英国における第1弾が好評により、今夏は第2弾として英国、スイス、ハワイ(米国)を実施予定

第3四半期においても、売上高の成長とともにEBITDA、営業利益の大幅増加。同時に経常利益、当期純利益も大幅改善

(百万円)	2024年3月期3Q累計(前期)	2025年3月期3Q累計(当期)	増加額	増加率
売上高	9,319	9,649	329	3.5%
EBITDA	685	854	168	24.6%
営業利益	64	282	218	337.6%
経常利益	151	269	118	78.7%
当期純利益	89	199	109	123.0%
児童数(人)	5,312	5,327	15	0.3%

EBITDA進捗率85%達成。

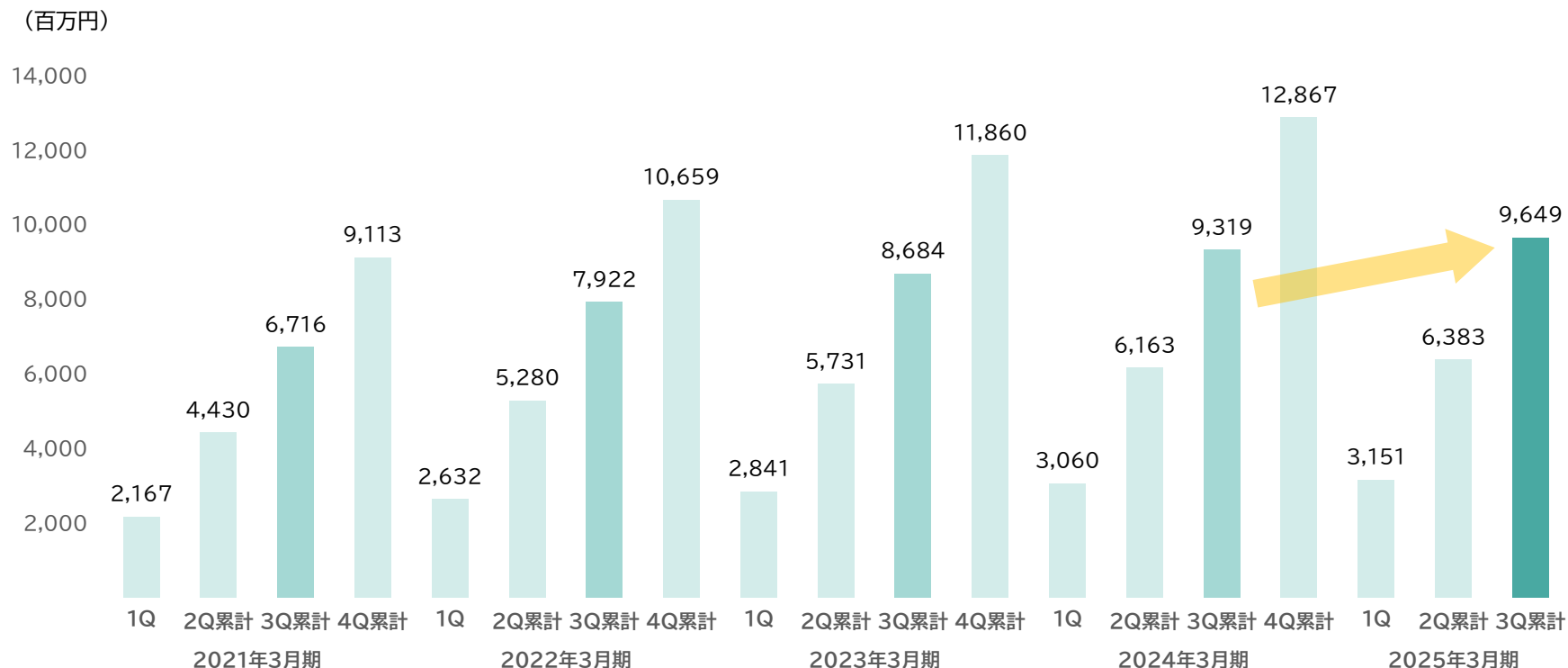
売上および利益の上振れを受け上方修正を実施(2月14日公表)

園児数増加、保育内容の充実、職員の定着率向上などにより、売上の増加や経営の効率化を達成

第4四半期にかけては積極投資予定より費用増加見込み

(百万円)		2025年3月期 期首公表通期予想	2025年3月期 修正後通期予想 (9月20日公表)	2025年3月期 修正後通期予想 (2月14日公表)	2025年3月期3Q累計(実績)	進捗率
売上高		12,900	12,900	13,100	9,649	73.7%
	国内教育領域					
	認可保育グループ	11,120	11,130	11,310	8,308	73.5%
	プレミアム教育グループ	1,630	1,650	1,670	1,239	74.2%
	国際教育領域	90	120	120	101	84.2%
	産後ケア領域	60	0	0	0	-
EBITDA		730	930	994	854	85.9%
営業利益		-100	100	240	282	117.5%
経常利益		-130	60	250	269	107.6%
当期純利益		-130	0	135	199	147.4%

第3四半期として過去最高更新

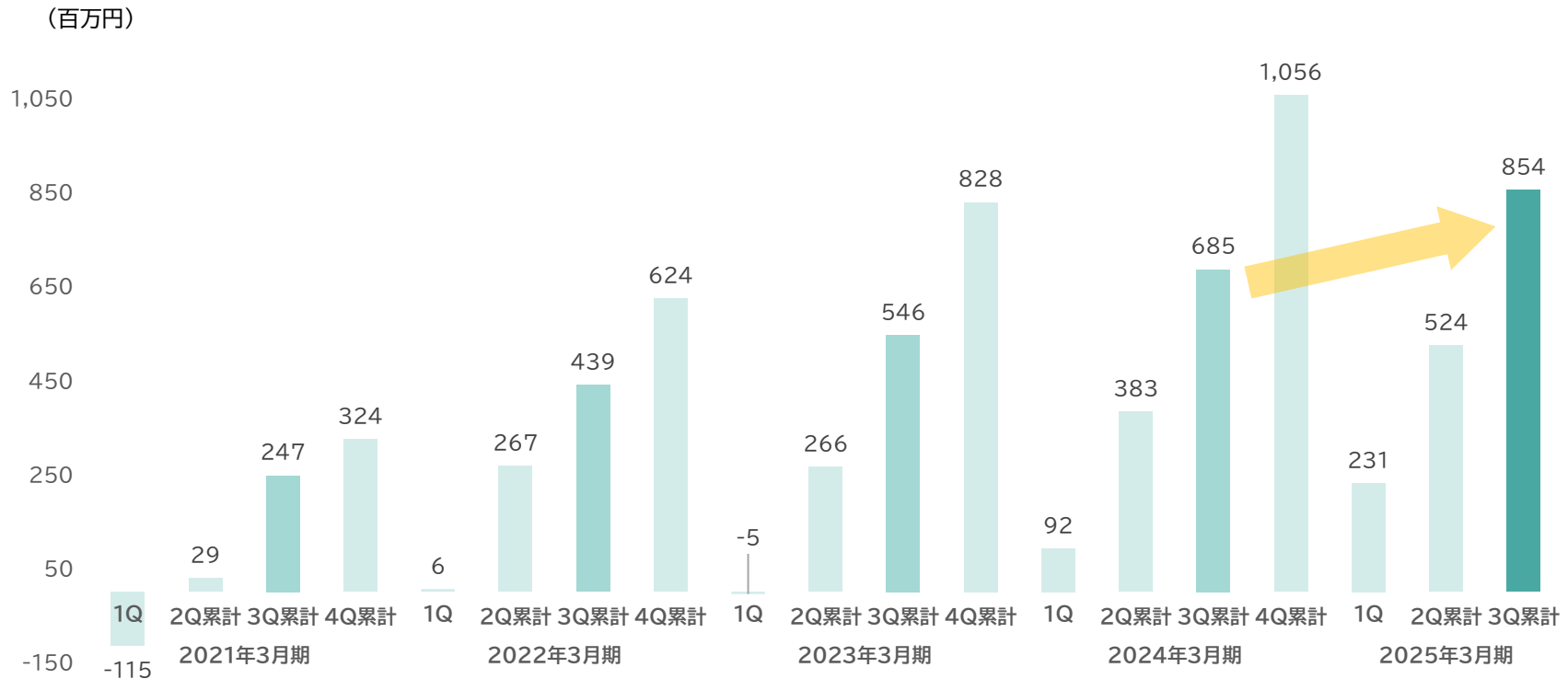


過去
最高

9,649 百万円

前年同四半期比 +329百万円(103.5%)

第3四半期として過去最高更新

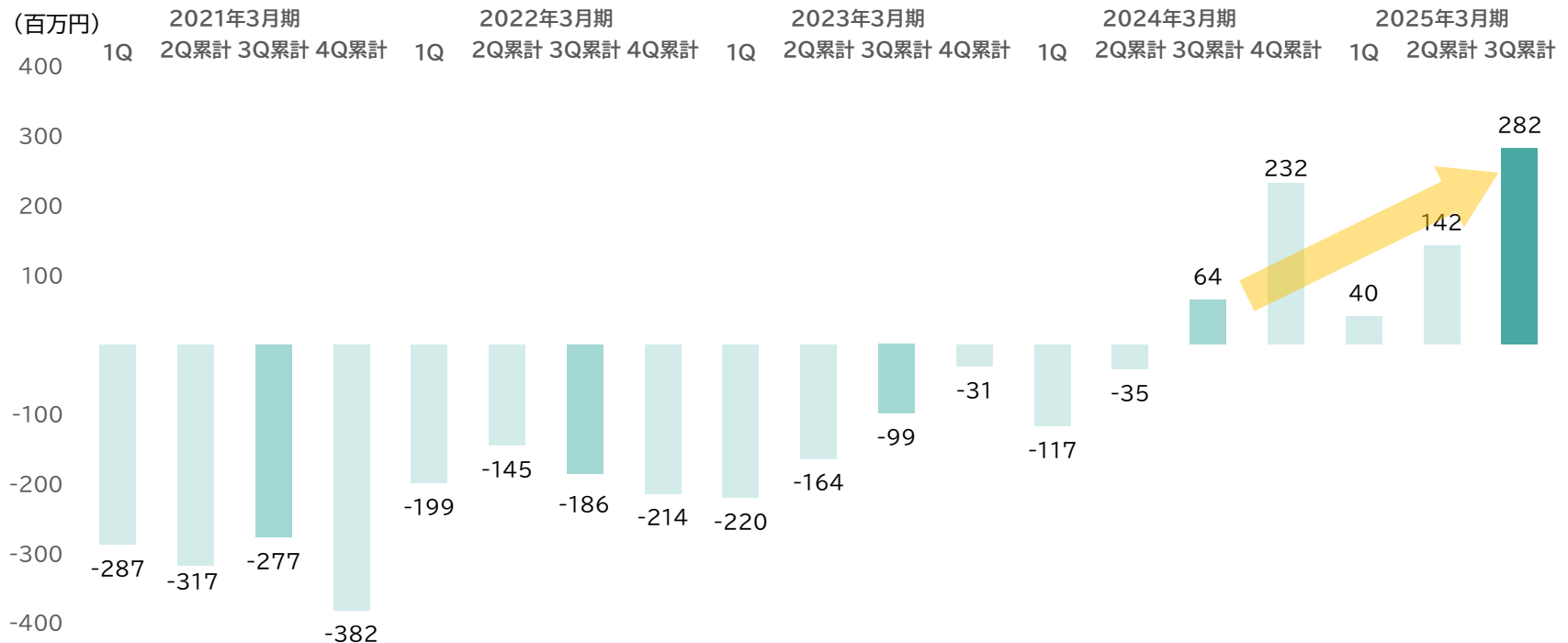


過去最高 **854**百万円

前年同四半期比 +168百万円(124.6%)

第3四半期として過去最高更新

第1四半期より黒字化達成した後、引き続き営業利益が伸張し過去最高水準を突破。力強い成長基調を維持

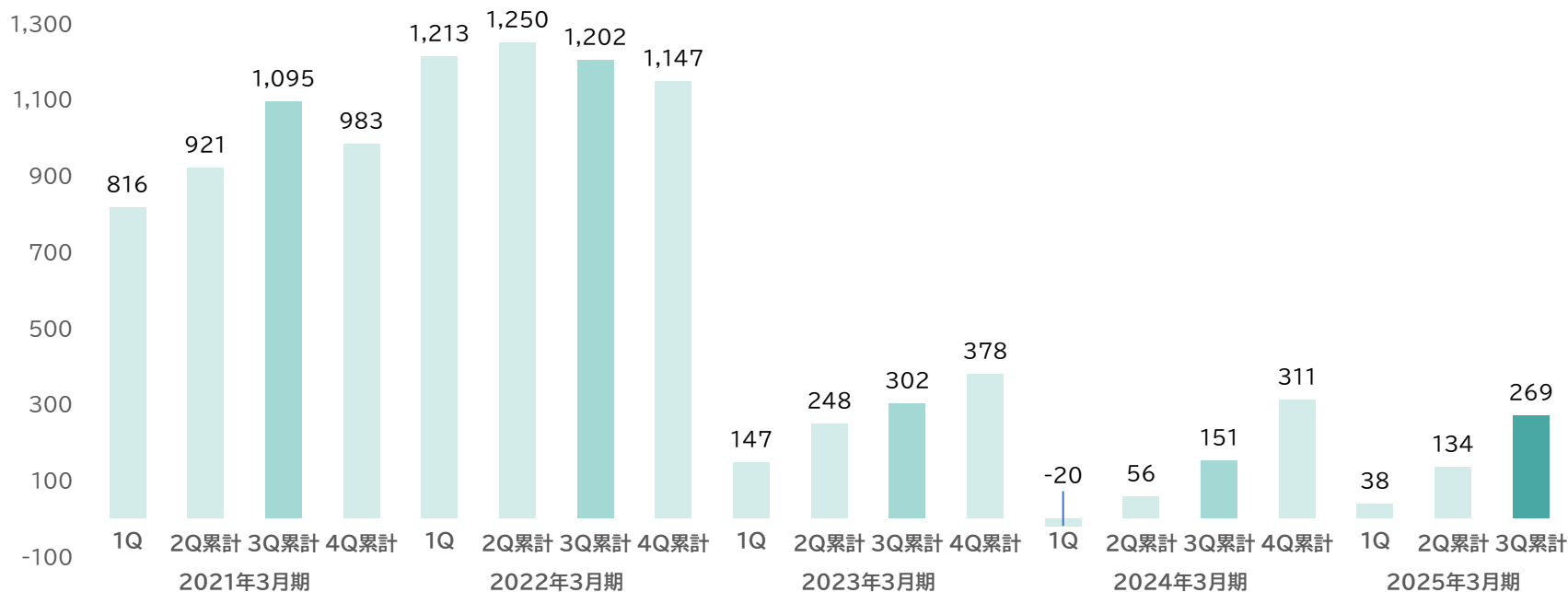


過去最高 **282** 百万円

前年同四半期比 +218百万円(437.6%)

認可施設開設補助金の減少にも関わらず利益改善傾向

(百万円)



参考:認可施設開設補助金(営業外収益)の推移

2021年3月期(通期):1,391百万円

2022年3月期(通期):1,418百万円

2023年3月期(通期):419百万円

2024年3月期(通期):100百万円

2025年3月期(3Q): 0百万円

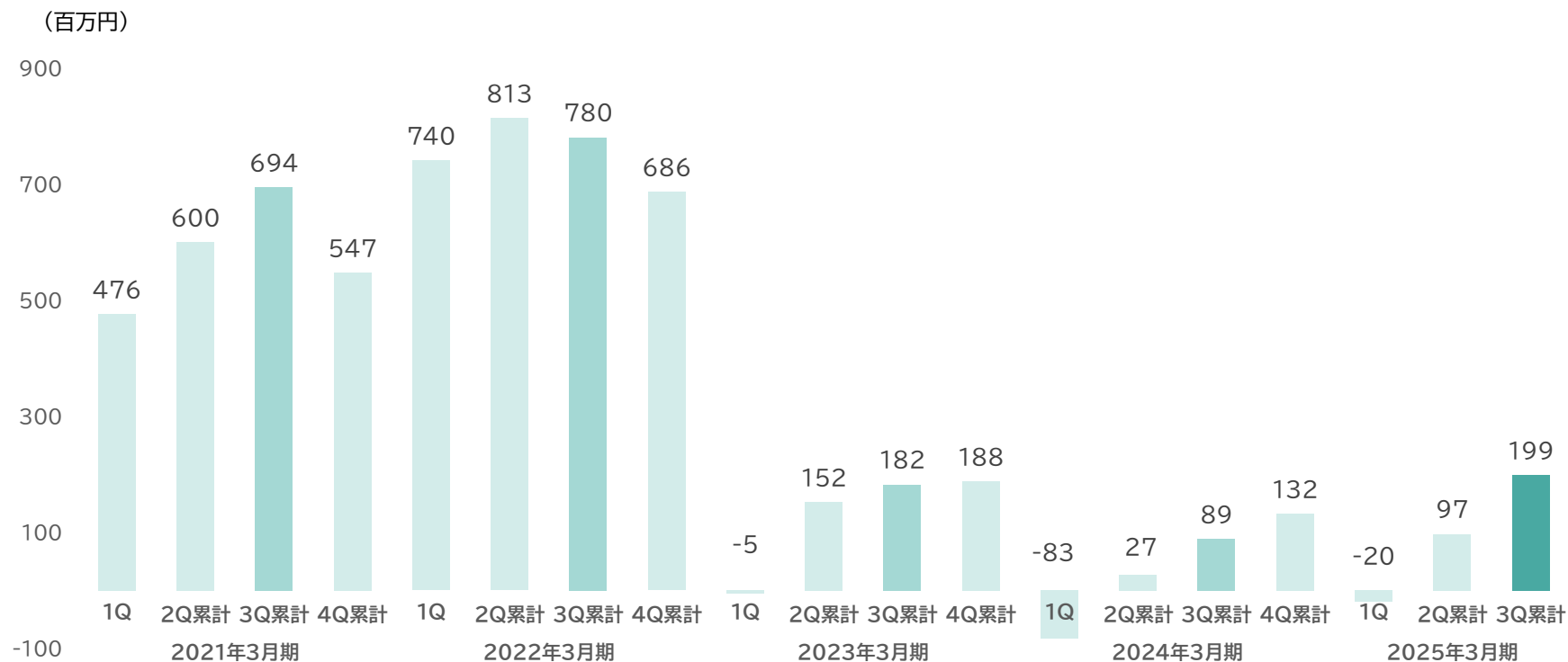
認可施設開設補助金の減少(100百万円)

を加味すると218百万円の大増額

269百万円

前年同四半期比 +118百万円(178.7%)

認可施設開設補助金の減少にも関わらず利益改善傾向



認可施設開設補助金の減少(100百万円)
を加味すると209百万円の大幅増額

199百万円

前年同四半期比 +109百万円(223.0%)

高い財務安全性を継続

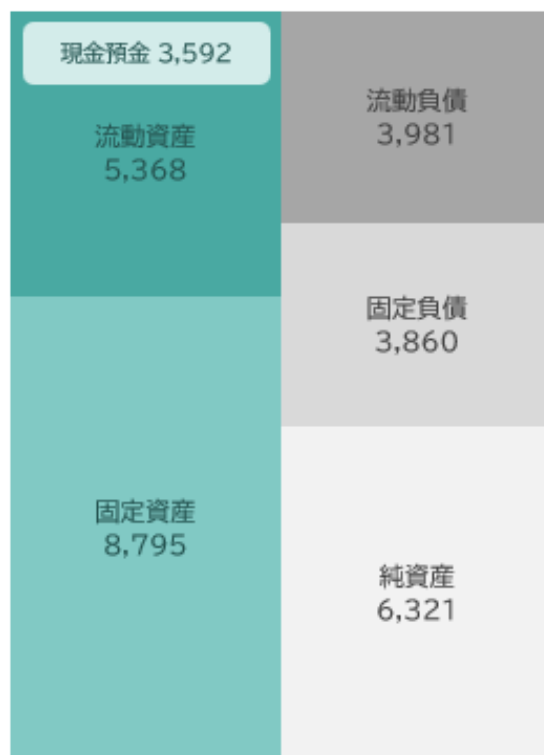
2024年3月末

総資産14,163百万円

自己資本比率44.6%

有利子負債比率63.5%

(百万円)



2024年12月末

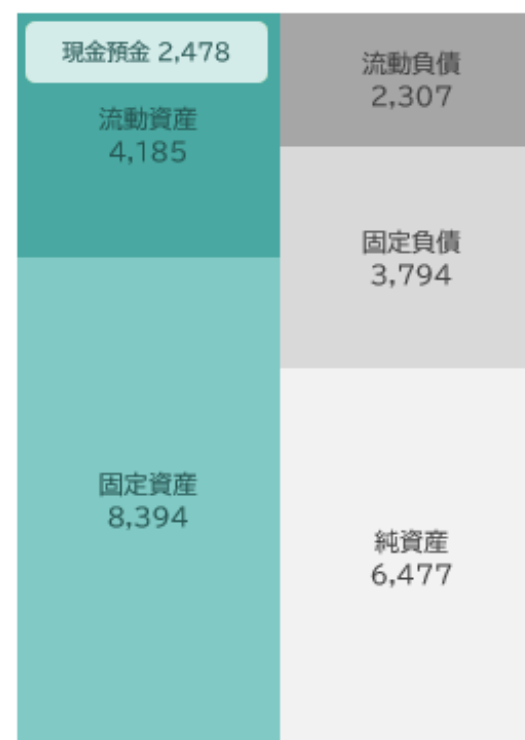
総資産12,580百万円

自己資本比率51.5%

有利子負債比率43.2%

自己資本比率
6.9pt改善、
有利子負債比率
20.3pt改善

(百万円)



※有利子負債比率 = (有利子負債 ÷ 純資産) × 100